

経営発達支援事業の目標							実施した事業	委員会 評価		
3. 事業計画策定支援に関すること【指針②】 (目標)							<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定件数：3件 ・補助金活用事業計画策定件数：68件 (持続化補助金33、もの補助4件、マル経31) ・経営革新計画策定件数：4件 ・創業・事業承継計画策定件数：20件 (創業2、事業承継18) ・なないろ通信の発行件数：14件 ※未達項目もあるが総体的に評価 	(A)		
項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
(1)事業計画策定件数	0件	31件	31件	31件	31件	31件				
(2)各種補助金活用事業計画策定件数	29件	35件	35件	35件	35件	35件				
(3)経営革新計画策定件数	2件	6件	6件	6件	6件	6件				
(4)創業・事業承継計画策定件数	2件	8件	8件	8件	8件	8件				
(5)なないろ通信の発行件数	12件	12件以上	12件以上	12件以上	12件以上	12件以上				
4. 事業計画策定後の実施支援に関すること【指針②】 (目標)									<ul style="list-style-type: none"> ・事業計画策定フォロー件数：15件 ・補助金活用事業計画策定フォロー件数：254件 ・経営革新計画認定及びフォロー件数：31件 ・創業・事業承継計画及びフォロー件数：62件 ※未達項目もあるが総体的に評価 	(A)
項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度				
事業計画策定フォロー件数	0件	124件	124件	124件	124件	124件				
各種補助金活用事業計画策定フォロー件数	29件	140件	140件	140件	140件	140件				
経営革新計画認定及びフォロー件数	2件	24件	24件	24件	24件	24件				
創業・事業承継計画及びフォロー件数	2件	48件	48件	48件	48件	48件				

経営発達支援事業の目標							実施した事業	委員会 評価																												
5. 需要動向調査に関すること【指針③】 (目標) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEB 商店街効果による需要動向の調査・分析</td> <td>0回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>特産品需要動向の調査・分析</td> <td>0回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> <td>4回</td> </tr> <tr> <td>建設業等の情報収集・分析</td> <td>0回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	WEB 商店街効果による需要動向の調査・分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回	特産品需要動向の調査・分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回	建設業等の情報収集・分析	0回	2回	2回	2回	2回	2回	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB 商店街効果による需要動向調査(4回) WEB 商店街の効果について、岩手県立大学生対象にアンケート調査を1回、事業所毎のグループインタビューを3回(3件)実施し経済動向調査と抱き合わせでレポートとして作成。 ・特産品需要動向調査(4回) ①チャグまるしえ滝沢年間販売動向調査。(年度終了後)②個社支援として3回(3件)の需要動向を県立大学と連携研究。 ・建設業等の情報収集(2回) R2年度市小規模修繕発注状況取りまとめ(年度終了後)。また、建設業協会で滝沢市への陳情項目として地元業者発注について経済動向と抱き合わせでとりまとめた。以上のデータを事業所支援時に活用。 	(A)
項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度																														
WEB 商店街効果による需要動向の調査・分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回																														
特産品需要動向の調査・分析	0回	4回	4回	4回	4回	4回																														
建設業等の情報収集・分析	0回	2回	2回	2回	2回	2回																														
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること【指針④】 (目標) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>現状</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEB サイトアクセス件数</td> <td>973件</td> <td>10,000件</td> <td>20,000件</td> <td>30,000件</td> <td>50,000件</td> <td>50,000件</td> </tr> <tr> <td>展示会、商談会開催回数</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td>5回</td> <td>6回</td> <td>6回</td> </tr> <tr> <td>展示会、商談会出店者数</td> <td>10店</td> <td>15店</td> <td>15店</td> <td>15店</td> <td>15店</td> <td>15店</td> </tr> </tbody> </table>							項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	WEB サイトアクセス件数	973件	10,000件	20,000件	30,000件	50,000件	50,000件	展示会、商談会開催回数	2回	3回	3回	5回	6回	6回	展示会、商談会出店者数	10店	15店	15店	15店	15店	15店	<ul style="list-style-type: none"> ・WEB サイトアクセス件数：17,313(3月除) ・展示会、商談会開催回数：2回 商工会まつり、岩手県産商談会(参加型展示販売会：2回) ・展示会、商談会出店者数：8者 (参加型展示販売会：7者) ・個社支援として「ちゃぐ〜る」掲載経営革新事業所11社の新規投稿支援を実施 ・滝沢市飲食テイクアウトマップ作成・配布 	(B)
項 目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度																														
WEB サイトアクセス件数	973件	10,000件	20,000件	30,000件	50,000件	50,000件																														
展示会、商談会開催回数	2回	3回	3回	5回	6回	6回																														
展示会、商談会出店者数	10店	15店	15店	15店	15店	15店																														

経営発達支援事業の目標							実施した事業	委員会 評価																																										
7. 地域経済の活性化に資する取組 (目標) <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>現状</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>異業種交流会開催</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>フォーラムの開催件数</td> <td>0件</td> <td>1件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>企業見学参加者数</td> <td>0名</td> <td>30名</td> <td>50名</td> <td>50名</td> <td>50名</td> <td>50名</td> </tr> <tr> <td>特産品開発品目(試作品)</td> <td>0件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>3件</td> <td>4件</td> <td>4件</td> </tr> <tr> <td>滝祭の開催</td> <td>0回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> </tbody> </table>							項目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	異業種交流会開催	0件	1件	2件	2件	2件	2件	フォーラムの開催件数	0件	1件	2件	2件	2件	2件	企業見学参加者数	0名	30名	50名	50名	50名	50名	特産品開発品目(試作品)	0件	3件	3件	3件	4件	4件	滝祭の開催	0回	1回	1回	1回	1回	1回	<ul style="list-style-type: none"> 異業種交流会開催 コロナウイルスの影響で新春名刺交換会について協議の結果、自粛 フォーラムの開催件数 コロナウイルスの影響で協議の結果、自粛 企業見学参加者数 ①10/3～10/4 商工会まつりにてイベント参加型インターンシップ実施 県立大生13名、盛大生1名参加 ②2/21 お仕事マッチング事業 参加事業所28社、参加者124名 特産品開発品目(3件試作品) (「ふわっふわ滝沢スイカかき氷」、「塩麹食品真空パックシリーズ」、「クリスマスローズプリザ」) 滝祭の開催 10/3～10/4 開催、12,000人の来場者 	(A)
項目	現状	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度																																												
異業種交流会開催	0件	1件	2件	2件	2件	2件																																												
フォーラムの開催件数	0件	1件	2件	2件	2件	2件																																												
企業見学参加者数	0名	30名	50名	50名	50名	50名																																												
特産品開発品目(試作品)	0件	3件	3件	3件	4件	4件																																												
滝祭の開催	0回	1回	1回	1回	1回	1回																																												
8. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること (事業内容) (1) 岩手県工業技術センターと連携したデザイン策定に関するノウハウの交換 地域資源を活用した商品開発ではデザインなどパッケージの良否が売上げの重要な鍵となる。そこで地域の小規模事業者の地域資源を活用した商品パッケージを多数支援している岩手県工業技術センターなどとの間で、最近の地域資源を活用したお土産品に係るデザイン校正や商品コンセプトとの関係などについて意見交換を行うとともに、当会でもエキスパートバンク事業などの専門家を活用して取り組んできた商品開発支援について情報を提供するなど、小規模事業者の新商品開発に関するノウハウの交換を行い、個別の事業計画等の相談対応に反映させていく。							(1)岩手県工業技術研究センターとの連携 岩手県産(株)と連携して特産品開発に係る支援(百花、(株)フードアトリエ、マル庄3件実施)	(A)																																										
(2) 滝沢市商工振興実務者連絡会 本商工会と滝沢市役所は市の商工業の振興を図るため、「滝沢市商工振興実務者連絡会」を平成17年から設置している。会議は、商工会職員と市役所経済産業部商工観光課、企業振興課、農林課職員とで2回の定期的で開催することとしている。その後、東日本大震災で途絶えていたが、平成26年度に再開し2度開催されており、平成27年度以降も、会議の中で支援ノウハウ等の情報交換を図る。									(2)滝沢市商工振興実務者連絡会開催：1回 市からの要請で1回開催に変更																																									

<p>(3) 三大学との連携</p> <p>市内にある三大学と連携した商工会事業はなかったが、小規模事業者から地元企業を知ってほしいとの考えからインターンシップの実施についての要望があり、27年度から事業実施の予定となっている。また、大学の持つ専門スキル、看護・社会福祉・ソフトウェア・総合政策等の共同研究による新事業展開の活性化を図る。</p> <p>9. 経営指導員等の資質向上等に関すること</p> <p>(事業内容)</p> <p>(1) 経営指導員等研修事業</p> <p>全職員が、岩手県商工会連合会が実施する職種別（事務局長・経営指導員・経営支援スタッフ）研修会や専門スタッフ育成となる企業分析・中小企業マーケティング・経営改善計画策定・新事業等経営計画策定研修会等にそれぞれ目的を持って参加する。そこで得た財務分析や市場分析等スキルにより、企業の経営計画策定等支援に有効に活かす。特に企業独自の独自性や差別化などによる新事業展開などの支援には、知識だけではなく傾聴力やコミュニケーション力、提案力も求められることから研修の場面場面で、自らその機会を捉え積極的に能力の向上に取り組む。</p> <p>(2) 実践による全職員の資質向上</p> <p>今後、経営計画策定支援が重要な業務となることから、現在経営指導員が担当している「小規模事業者持続化補助金」の経営計画作成等について、全ての職員が関わるとともに、企業に対する専門家派遣支援の際は、職員が帯同しそのスキルを学ぶこととする。また、2名いるプロジェクトマネージャーを中軸として経営革新計画策定についてOJT等により職員個々の能力を高め、全職員が伴走型の支援ができるよう組織機能強化を図る。</p> <p>(3) 岩手県中小企業家同友会への参加</p> <p>中小企業家同友会は、経営者一人一人の悩み・問題意識を出発点に活動しており、経営体験を本音で語り・学び合い、経営者の学びの場・成長の場となっている。商工会職員は、経営者である会員と接する機会があるものの、経営者の本音に向き合う機会がなかなかない。同友会に参加し、経営者の生の声を聴くことにより、商工会職員が経営について・経営支援の方策等について学び、会員に寄りそった事業を展開できるように資質向上を図る。</p> <p>(4) 支援ノウハウの共有と蓄積</p> <p>研修受講結果については、月2回行う定例の職員会議で報告の時間を設けることによって他職員とも共有する。また、支援現場で活かすために経営指導員と経営支援スタッフが、ペアで3チームを構成し、担当地域を単独あるいはチームで巡回する。その支援経過や成果は、相談指導業務日報に落とし込み、チーム内で検証したうえで全職員に回覧し、さらに定例の職員会議で意見交換することで実践成果の共有によるスキル修得へ結び付ける。相談指導業務日報は、基幹システムの経営指導カルテに反映させ、事例として蓄積される他、この体制により情報共有とOJTを交えた実践によるスキルアップの体系を構築する。</p>	<p>(3)個社支援として、(株)フードアトリエ、(株)モンゴル未来、(有)みちのく自動車钣金塗装の需要動向を県立大学と連携研究。(10月～1月)</p> <p>(1)経営指導員等研修参加：述べ20人 (県連主催17、事業団主催1、厚労省主催2)</p> <p>(2)実践による全職員の資質向上 持続化補助金経営計画作成支援：職員6人 経営革新計画作成支援：職員5人</p> <p>(3)岩手県中小企業家同友会への参加 不参加であったが、事業計画策定支援で多くの企業と関ることで一定の目的は達成できた。</p> <p>(4)支援ノウハウの共有と蓄積 職員会議の開催とOJT：24回</p>	<p>(A)</p>
--	--	------------

<p>10. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること</p> <p>事業の評価については、毎年度当初に岩手県商工会連合会に報告する事業評価の時期に合わせて開催する他、年度の中間の年2回、滝沢市、外部有識者、商工会連合会、滝沢市商工会役員で構成する「滝沢市商工会事業評価会議」を設置し、会員の動向調査、経済動向、目標となっている数値が達成度合を検証し、事業の評価を行う。各年度に実施された事業は、「商工会事業評価会議」で目標値の確認をし、その内容については、正副会長会議で報告し、事業の継続、改廃について検討したうえで、新年度事業計画として理事会、通常総会で審議する。</p> <p>外部有識者を交えて実施した事業評価会議の結果</p> <p>1. 令和2年度事業全体</p> <p>コロナ禍において各種事業の自粛が強いられた中、事業者にあぼすコロナウイルス感染拡大の影響に対して国、県、市の補助金等の施策活用や特別相談窓口の設置で経営課題の解決に向け鋭意取り組んだ。</p> <p>なお、コロナウイルス感染症の大きな影響を受けた飲食業に対してテイクアウト・デリバリーマップを作成し広く周知する支援を行った。</p> <p>また、全国的にイベントが自粛される中、感染防止を徹底し「滝祭2020」を開催し地域振興の活性化にも取り組んだ。</p> <p>2. 令和3年度に向けた改善点</p> <p>令和3年度からは、経営発達支援計画も第2期計画に入り、第1期計画の実績を踏まえコロナ対策にも注視した取り組みを展開する。</p>	<p>・滝沢市商工会事業評価会議の開催：1回</p>	<p>(B)</p>
---	----------------------------	------------